



陶彩画「夢富士」作：草場一壽



乾式及び計器用変成器・特殊変成器・特殊用途コイル・樹脂製品

ヒラデ電計機株式会社

会社案内

<http://www.hiraidenkeiki.co.jp/>

和信協営

和信協営

京都商工会議所 第十代会頭 中野種一郎氏揮毫によるヒラキ創業以来の社是です。

和と信頼を以て社業に一致協力して邁進、繁栄を勝ち取れという意味が込められています。



陶彩画「新生」 作：草場一壽

創業 100 年を超える企業として 日本に貢献できる企業を目指します

当社の歴史は大正 10(1921)年 2 月 11 日に創業者である平井大助が、当時神戸にあったスイス人経営のシーベル・ヘグナー商会(現 DKSH ジャパン)を退社し大阪で個人企業を起こしたことに始まります。

その後、第二次世界大戦中には国の軍需企業であった現島津製作所の要請により京都に移転、終戦後の昭和 27(1952)年 2 月に現会社設立、昭和 39 (1964)年には京都市南区に本社工場を建設移転し、開発・設計・製造・販売の一体化を完成させました。その後着実に発展を遂げ、令和元年(2019 年)8 月に新たな生産拠点「令和けいはんな事業所」の開設に至りました。

令和 3(2021)年 2 月、創業 100 周年を迎えましたが、新型コロナウイルスの影響を鑑みて周年行事の実施は致しませんでした。しかし、2020 年には ISO9001 の取得、翌年には「一般社団法人日本電気協会」主催の『第 66 回澁澤賞』を受賞するなど確実に新たな歩みを始めております。

また、現状に甘んじることなく長年にわたって培ってきたこれらの実績技術と技術革新を継続する新素材の融合により、従来よりも斬新かつ小型・高品位・高付加価値で競争力のある、事業分野を超えた製品を創出するために日々邁進を続けております。社として社会に貢献するため、社会をとりまく様々な「インフラ」を担える企業を目指し、「日本の未来」を担う技術と人材を育める企業になりたいと考えております。

令和 5 年 2 月 11 日

事業所紹介

【令和けいはんな事業所】

けいはんな地域共生プロジェクト

2019年（令和元年）に里山の風景を残す緑豊かな京都府精華町（けいはんな学研都市）に新事業所を設立致しました。平成から令和への変遷と、当社の将来を祈念して「令和けいはんな事業所」と命名致しました。

ヤギによるエコ除草や昆虫生態豊富な自然を活かし、将来的に児童自然学習の場等の地域貢献にも繋げて参ります。「帰ってきたくなる街、精華町」を創り上げる一助になればと願っております。



敷地総面積：15,000㎡北に国立国会図書館を擁する堅牢な土地に建設。



【CSR活動】

ヤギによるエコ除草

同町内のヤギレンタル業者から提供されているヤギを利用。ヤギは古くから日本では家畜として人間と共に生活してきました。穏やかで優しい気質の動物なので癒しの存在になっています。

地域企業との繋がり、ヤギ除草の波及効果を狙い、地域連携や将来的にはヤギを通じて子供たち、高齢者の癒しの場を作る事も検討したい。

【本社工場】

昭和から令和へ…

電機の歴史を刻み続ける匠の技



ヒラキの歴史はエポキシ樹脂絶縁トランスと共にありました。昭和の高度経済成長期を支えた佇まいと実績は、KBS京都テレビ「京 bizX」にて紹介され、ドラマのロケ地としても活躍。

当社の温故知新の発信地として半世紀以上を経た今もなお稼働し続けています。



【東京営業所】全国への拠点として

2007年開所。

目黒区という地の利を生かし東西南北、貴社が我々を必要とする時にはすぐに駆けつけます！気兼ねなくご相談下さい。





標準製品一覧は
こちらを読み込
んで下さい



『ヒラフの絶縁コイル』は
社会インフラシステムをはじめとして、
あらゆる場面で活躍しています。



大口径・大電流
ブッシング変流器



特高 計器用変成器



高電圧・高耐圧
エポキシモールドパルストランス



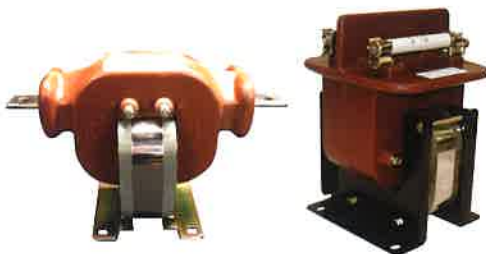
電力需給用または取引証明用
検定受検用変成器



開閉器内蔵用 電源変圧器



高圧 操作用変圧器（オベトラ*）
および 変圧器



高圧 計器用変成器



キュービクル式高圧受電設備向け
変流器



大電流ホール変成器



低圧 計器用変成器



超精密級 標準変流器



試験設備用 精密級変成器

納入実績と開発履歴

ヒラキでは、1962年にエポキシレジンモールド絶縁方式を独自に開発して以来、製品を開発納入してきました。
2020年現在までの主な開発品実績を次に記します。



1958年 特許 第426098号「小容量巻鉄芯変流器」の誤差補償方法による貫通式変流器を開発。
流行を作り出した我国初アンペアターン別による小型高精度「巻鉄芯貫通式変流器」を発売

1960年 6kV エポキシレジンモールド形 CT・VT 量産開始

1963年 6kV エポキシモールド形 75倍 / 150倍 / 300倍 耐電流 CT 開発

1969年 6kV エポキシモールド耐電流変流器(40倍/75倍/150倍/300倍)の耐電流限界試験を実施。

1970年 関西電力殿 6kV エポキシモールド形 CT・VT についてヒラキ標準品を推奨第1号に認定

1977年 北海道・本州 他励式 直流送電用 高電圧エポキシモールドバルストランスを開発・納入

1978年 新信濃超高圧模擬送電用過度特性付変流器を開発・納入

1979年 核融合炉 JT-60 用高周波高電圧エポキシモールドバルストランスを開発・納入

1980年 周波数変換装置用高電圧エポキシモールドバルストランス開発・納入

1981年 日本配電盤工業会・日本電気協会殿より「高圧受電設備用変流器」用耐電流変流器(12.5kA/0.125秒)の開発依頼を受け、試作品を納入。
国内試作第1号耐電流合格(現在の JIS C 4620 に繋がる)。

1985年 JR 総研宮崎リニア実験線向け 10kV ホール変流器 開発・納入

1986年 四国電力納 柱上用零相キャリア送信用変圧器・電源変圧器を納入開始(総計4万台納入 無事故実績 35年)

1991年 JR 総研山梨リニア実験線納 高電圧エポキシモールドバルストランスを開発・納入開始
関西電力大河内可変速揚水発電所向け高電圧エポキシモールドバルストランスを開発・納入開始

2004年 全開規格対応 柱上高圧気中負荷開閉器用電源変圧器納入開始

2005年 海洋研究開発機構殿向け 深海 10000m 探査機

2006年 超精密級大電流 40000A 標準変流器(誤差作動抑制機能・試験巻線付 39タップ JIS 0.1級) 開発・納入

2009年 低圧ダブルモールド式 変流器 CTC シリーズ 開発・納入・一般販売開始/ 大口径大電流(〜一次電流 4000A)向け ZCT の開発・納入

2014年 落雷電流計測用ログスキーコイルの開発

2015年 高圧エポキシモールド操作用変圧器(オペレーショントランス)標準ラインナップ化・拡販開始

2016年 タイ電力庁納め 1982年納入カオラエム水力発電所リプレース。

2017年 北海道・本州 自励式 直流送電用 高電圧エポキシモールドバルストランスを開発・納入

2020年 本社工場 ISO9001 取得

2021年 一般社団法人 日本電気協会主催『澁澤賞』受賞

2024年 令和けいはんな事業所 ISO9001 拡大認証



第66回『澁澤賞』受賞



認証 本社工場
令和けいはんな事業所

会 社 概 要

社 名： ヒラキ電計機株式会社
(英) HIRAIDENKEIKI Co.,Ltd.
代 表 者： 代表取締役 社長 平井 隆也
創 業： 1921 年 2 月 10 日(大正 10 年)
設 立： 1952 年 2 月 11 日(昭和 27 年)
資 本 金： 7000 万円
営業品目： 乾式及びモールド計器用変成器・特殊変成器・特殊用途コイル
樹脂製品等の製造・販売
取引銀行： 京都信用金庫 吉祥院支店 滋賀銀行 九条支店
U R L： 会社ホームページ / 会社紹介 YouTube



弊社 HP URL



動画 YouTube

主 要 納 入 先

日本電気計器検定所・海洋研究開発機構・日立製作所・東芝・三菱重工・三菱電機・富士電機・明電舎・日新電機・
安川電機・東芝三菱電機産業システム(TMEIC)・戸上電機製作所・日本高圧電気・大垣電機・三英社製作所・東光高岳・
電源開発・東京電力パワーグリッド・東芝産業機器システム・北海電気工事・日鉄テックスエンジ・東和電機工業・
東北電機製造・古川電気工業・かわでん・北芝電機・日本工営・大崎電気・勝亦電機製作所・荏原製作所・日東電機製作所・
電巧社・太陽電機工業・大日製作所・でんそく・別川製作所・トーエネック・新愛知電機製作所・河村電器産業・日東工業・
シンフォニアテクノロジー・寺崎電気産業・ダイヘン・関西電機工業・ニチコン草津・西島電機製作所・内外電機・
アイベステクノ・指月電機製作所・西芝電機・中国電機製造・中電工・長門製作所・四変テック・渦潮電機・有明機電工業・
赤司電機・正興電機製作所・日新電工・九電テクノシステムズ・明興テクノス・共立電機製作所・千代田組・千代田工販・
黒田電気・たけびし・日研機器・因幡電機産業

沿 革

1921 年 2 月 11 日(大正 10 年) 平井大助、在神戸スイス人経営者シーベル・ヘグナー商会工業部計器係を退社と同時に
個人企業としてヒラキ電機製作所を大阪市に開業し指示計器、計器用変成器を製作、販売。
シーベル・ヘグナー商会のランディスギア製電力量計用変成器を主として納入。
1940 年(昭和 15 年) 日本電気計器株式会社(現株式会社島津製作所)の招請により協力下請け工場を設置。
1948 年(昭和 23 年) 終戦後各方面の需要が増大するにあたり資本金 100 万円有限会社ヒラキ電機製作所に組織変更し専属
下請けを廃し専門メーカーとして広く販路を拡大。
1952 年 2 月 10 日(昭和 27 年) 現社名ヒラキ電計機株式会社に改組。
1962 年(昭和 37 年) 資本金を 550 万円に増資すると共に京都市南区吉祥院(現本社所在地)に変成器組立工場を建設。
1964 年(昭和 39 年) エポキシモールド絶縁製品の生産を本格化。試験設備・倉庫等を充実させ増資を行う。資本金 2000 万円。
1974 年(昭和 45 年) 増資を行い資本金 3300 万円となる。
2005 年(平成 17 年) 電気指示計器事業からの完全撤退。
2006 年(平成 18 年) 東京出張所開設。
2007 年(平成 19 年) 増資を行い資本金 4000 万円とし東京出張所を東京営業所に格上げ。
2019 年(令和元年) けいはんな学研都市光台に「令和けいはんな事業所」竣工。
2024 年(令和 6 年) 1 月 増資を行い資本金 7000 万円となる。





2019 年竣工 令和けいはんな事業所

拠点へのアクセス

【本 社 工 場】



【東 京 営 業 所】



【令和けいはんな事業所】

